



村の豊かな自然を生かした体験型観光の推進が期待されます

な導入を図るなど、即効性の高い雇用・就業機会の創出に努めてまいります。

体験型観光 推進に努力

観光、グリーン・ツーリズムの振興

見る観光から体感する観光に観光動向が変化している中で、利用者ニーズ(需要)に合わせた、新しい観光資源の受け入れ体制を創り出すと共に、都市住民や学生たちが農

山漁村に滞在し、さまざまな体験をするブルー・グリーン・ツーリズムによる体験型観光の推進に努めてまいります。

休養施設の経営改善の方針

国民宿舎くろさき荘につきましては、依然として厳しい経営状況にあり、休養施設運営審議会の意見や庁内の事務改善委員会での議論、コンサル

基盤の整備姿勢として

安心ある村つくりします

黒崎周辺の 活用策取組

自然環境の保全と活用

快適な暮らしの実現に向けて、すべての村民に自覚と行動を促し、また、その必要性を呼びかけながら、近年注目されてきている自然エネルギーの活用策についても、引き続き取り組みたいと考えております。

また、黒崎から北山崎までの「遊歩百選」認定コース、あるいは「全国灯台50選」認定の黒崎灯台をセールスポイントに、今後の観光、各種イベントへの有益な活用を考え

ルタントによる経営診断の結果を踏まえながら、施設の改良、運営改善に取り組み考えております。

海の家まついそにつきましましては、十五年度が単年度黒字に転じる見込みであることから、今後も累積赤字の解消のためさらなる経営の改善に取り組んでまいります。

てまいります。

防災機能の確立

災害が発生した場合に備えて、防災対策に万全に取り組み、各河川の洪水対策、消防活動体制の整備、防災ネットワークの充実、津波対策と発生時の緊急連絡体制整備などを進めてまいります。

主要道路の 整備を推進

道路交通網の整備

主要都市への幹線道路の早急な整備の必要性を国、県などに強く働きかけ、また村内の生活道路の整備を計画的に進めてまいります。

国道四五号普代バイパス工事の促進、市街地直角T字路改良は数年かかりましたが、局部的な歩道整備が実現いたします。

県道の改良、防災工事、白井・鳥居くろさき町龍泉洞間の



平成18年度の部分開業に向け工事が進む「普代バイパス」写真は普代第1トンネルとA2橋台

大規模農道工事など、国や県などの事業も引き続き順調な推進に努めてまいります。待望の早坂トンネル工事も着手以来順調に進んでおり、県都盛岡への九十分構想の実現に向けて大きな期待が寄せられております。これを本村の産業経済の振興、広範な交流・連携の促進など、村の発展に役立てるため、この波及効果を有益に活用する取り組み

みも進めてまいります。

宅地供給や 公園を整備

居住環境の充実

快適な生活環境の実現に向けて、合併処理浄化槽の設置を図ると共に、漁業集落排水施設等汚水処理の一体的かつ効率的な整備の取り組みを推進してまいります。

若者や子育て世代の定住を進めるため、宅地の供給や身近な公園整備などについても検討してまいります。

快適な生活 環境を整備

保健・医療・福祉の充実

健やかで安心できる暮らしを実現するために、保健、医療、福祉の一体的な取り組みが重要であることから、保健福祉医療活動の連携強化を図ると共に、少子高齢化時代に対応する福祉活動の充実強化に努めると共に、子育て支援の体制整備のため、村民のボランティア活動を支援してまいります。

(次ページに続く)